

No. 1592

昭和から平成へ

——新天皇誕生——

天皇陛下は昭和64年1月7日午前6時33分十二指腸ガンで崩御されました。

宮内庁と首相官邸で同時発表する藤森宮内庁長官と小淵官房長官。

昨年9月19日に吐血されて以来体内出血とご高齢による衰弱のため絶対安静状態がつづき侍医団の大量輸血による治療も及びませんでした。

皇居では1月7日新しい天皇陛下の即位式が行われました。皇室の伝統に従い「剣璽等継承の儀」が国事行為として行われ宝剣と曲玉などが新天皇陛下に伝達されました。

戦争、敗戦、占領につづく繁栄等、その在位62年87歳のご生涯は波乱に富んだ激動の時代でした。

皇居坂下門に設けられた記帳所には天皇陛下のご冥福を祈る弔問の列が続き、記帳を訪れる人で終日こみあいました。

また政府は首相官邸で臨時閣議を開き「昭和」に代わる新年号を「平成」と決め、1月8日から施行されることになりました。記者団に発表する小淵官房長官。

1月9日、新しい天皇陛下が即位後初めて国民の代表者とお会いになる「即位朝見の儀」が皇居宮殿「松の間」で国の儀式として行われました。儀式には竹下首相ら243人が出席しました。

新天皇陛下は「皆さんと共に日本国憲法を守りこれに従って責任を果たすことを誓い、国運の一層の進展と世界の平和、人類の福祉の増進を切に希望してやみません。」とのべられました。

新元号「平成」と共に新しい時代が動き出したようです。